

~丸くて美しい  
それがびんてまり~

そんなびんてまりについて  
知りませんか



# びんてまりを知ろう！

びんてまりとは

※フラスコ型のガラス瓶に、びんの口よりも大きな手まりを入れた不思議な工芸品

“愛知川びん細工手まり”と言います。

全国でも作り手が少なくなっていた。びんてまりの技術を絶やしてはならないと保存会が結成されました。

以来、※けんさん工夫が重ねられ、平成23年には滋賀県伝統的工芸品に指定されました。

※耐熱性ガラスで作った、首の長い、徳利(とくり)状の、化学実験用容器。  
※みがき深めること

## 魅力

同じものを作っているつもりでも二つとして同じものはできないことです。同じ柄、同じ作り方で作っているつもりでも、その時々のお気持ちや感情によって、表現したい色や模様の出来が全く違うものになります。時間をかければ良いものができるわけではなく、良いものを作りたいという気持ちが大切になります。

## びんてまりの値段

1個あたり2万5千円～3万円程度です。

## 行事

毎年12月上旬～中旬にかけて開催される

『びんてまり展』では、300点以上の色鮮やかなびんてまりが展示される。

## 歴史

びんてまりとして1番古いものは、160年以前のもの聞いています。いつ、どこで生まれたのか、その歴史はつまびらかではありませんが、愛荘町には、江戸時代末期に伝わったと言われています。せんさいで美しい愛知川びん細工手まりは、「丸くて(家庭円満)、中がよく見える(仲良く)」と、新築や結婚祝いの贈り物に喜ばれています。

